



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究会報
Citation	独語独文学研究年報, 32, 115-118
Issue Date	2005-12
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/26151
Type	departmental bulletin paper
File Information	32_P115-118.pdf



研 究 会 報

講義題目（２００５年度）

〔学部〕

独語学概論Ⅰ	Deutsch in den Medien I - Fernsehredaktion	Christine Kühn
独語学概論Ⅱ	ドイツ語学の基礎知識	清水 誠
独文学史概説Ⅰ	文学史記述の諸問題	山田 貞三
独文学史概説Ⅱ	近代以降のドイツ文学	山田 貞三
独語学	Landeskunde aktuellⅠ	Christine Kühn
独語学	Landeskunde aktuellⅡ	Christine Kühn
独語学	ドイツ語論文の読み方	清水 誠
独文学	ドイツ文学Ⅰ	Barbara Klema
独文学	ドイツ文学Ⅱ	Barbara Klema
独語学基礎演習	オランダ語学入門	清水 誠
独語学基礎演習	ドイツ語学の基本	清水 誠
独語学基礎演習	Geschriebenes Deutsch	Christine Kühn
独語学基礎演習	Gesprochenes Deutsch	Christine Kühn
独文学基礎演習	変身の物語Ⅰ	山田 貞三
独語学演習	中世ドイツ語の基礎	清水 誠
独語学演習	Deutsch in den Medien II - Zeitungsredaktion	Christine Kühn
独文学演習	メタモルフォーゼⅠ	山田 貞三
独文学演習	メタモルフォーゼⅡ	山田 貞三

〔大学院〕

ドイツ語学ゲルマン語学特別演習	ドイツ語学ゲルマン語学の諸問題０５（１）	清水 誠
ドイツ語学ゲルマン語学特別演習	ドイツ語学ゲルマン語学の諸問題０５（２）	清水 誠
ドイツ文学特別演習	Germanistik und Kulturwissenschaft（３）	山田 貞三
ドイツ文学特別演習	Germanistik und Kulturwissenschaft（４）	山田 貞三
ドイツ語ドイツ文学特殊講義	Berühmte deutsche Tagebücher in Geschichte und GegenwartⅠ	Christine Kühn
ドイツ語ドイツ文学特殊講義	Berühmte deutsche Tagebücher in Geschichte und GegenwartⅡ	Christine Kühn

研究会行事記録

1. 2005年2月17日に北海道大学文学部W204号室（新棟2階）において2004年度卒業論文発表会が開かれた。

〈留学関係〉

◎ 2005年10月に熊坂 亮氏がチューリッヒ大学へ留学のため出発。

☆ 2005年6月11日の総会にて、幹事選出等が行われた。

2004年度 独語独文関係の論文題目

卒業論文

- 石 田 隆 雄 : 姉妹都市交流の現状と課題について
— 札幌市とミュンヘン市の交流を中心として —
- 小 林 響 子 : ドイツにおけるトルコ人の現状
— ドイツ社会との統合・共存を目指して —
- 田 中 雅 子 : 文字色が生み出すイメージとテキストメッセージとの関係の研究
- 塚 本 祐 子 : シュティフターの『水晶』— そのメルヘン的要素 —
- 寺 島 里江子 : ドイツにおける国語科教科書
— 基礎学校第4学年用教科書の考察と日独比較 —
- 水 野 由 樹 : 読書感想文の分析
- 村 田 あ き : 外国語絵本を見る際の行動について

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため、下記の事業を行なう。
 - 1) 機関誌「独語独文学研究年報」を毎年1回発行する。
 - 2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会会員は北海道大学大学院文学研究科・独語独文学関係の教官・院生ならびにその趣旨に賛同するものによって構成される。

本会会員は上の活動の遂行のため所定の会費を払う。

本会は1名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。

本会の事務局は北海道大学大学院文学研究科におく。

本会に賛助会員をおく。

☆ 論文執筆要項

1. 論文審査
 - 1) 本誌は論文の掲載に関して審査を行う。
 - 2) 論文の採否は審査委員が決定する。その際、原稿への加筆、修正などを求めることがある。採否の結果は、編集委員会が投稿者に通知する。
 - 3) 審査委員は、編集委員会から委嘱を受けた本会所属の教員数名がその任にあたる。
2. 原稿執筆規定

執筆申し込み : 執筆希望者は、各年度の5月に行われる総会の前日までに、その旨を編集委員会に申請すること。

ページ数 : 20ページ程度。1ページの文字数・行数は任意。ただし35～37行程度が望ましい。

原稿の大きさ : A4。

論文題目 : 原稿1ページ目の最上段中央に、太字またはゴシックで多少大きめに記載する。二行にわたっても構わない。また、別紙にドイツ語または他の欧文による題目を記載する。

注釈・文献 : 注釈は脚注または奥付けとする。注釈番号はアラビア数字で右括弧付き。

執筆者氏名 : 原稿1ページ目の3行目（題目との間に1行あけること）、太字またはゴシックで右端に記載する。

身分の明記 : 原稿末に丸括弧つきで、右寄りで所属機関・職名を明記する。

締め切り : 10月31日。

会 員 名 簿

※青 柳 謙 二	阿 部 和 夫	石 川 克 知	石 原 次 郎
伊 藤 祐紀子	岩 井 洋	岩 田 聡	※植 木 迪 子
梅 津 真	江 口 豊	岡 崎 朝 美	岡 田 麻 子
荻 原 達 夫	香 川 千 穂	川 崎 良 江	※川 島 淳 夫
川 嶋 幸 子	岸 川 良 蔵	○岸 本 明 子	熊 坂 亮
佐 藤 修 子	佐 藤 俊 一	塩 谷 幸 子	清 水 誠
シャイフェレ馨子	神 久 聡	○真 貝 恒 平	杉 浦 康 則
鈴 木 将 史	瀬 尾 慎 一	高 橋 修	田 中 剛
対 馬 晃	寺 田 龍 男	○戸 松 豊	○中 村 寿
中 柁 勝 美	名 執 純 子	名 執 基 樹	西 川 智 之
藤 本 純 子	前 原 真 吾	松 橋 知 子	三 浦 國 泰
最 上 英 明	森 田 一 平	山 口 修 司	山 田 恵 子
◎山 田 貞 三	山 田 善 久		

◎は会長

○は幹事

※は名誉賛助会員

編 集 後 記

レフェリー制を導入して5年目となりました。掲載論文は厳正な審査を受けた論文です。ご多忙中、快くレフェリーを引き受けてくださった方々には、この場を借りて深く感謝申し上げます。

編集委員一同